
平成31年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成31年 2月27日

質問者（質問順）

- 1 伊藤純一委員（民権フ）
- 2 河治民夫委員（共産党）
- 3 川口 広委員（自民党）
- 4 上野盛郎委員（自民党）
- 5 輿石且子委員（無所属）

温暖化対策統括本部

局 別 審 査

1 伊藤純一 委員（民権フ）

1 横浜カーボンオフセットプロジェクトの推進について

(1) 横浜カーボンオフセットプロジェクトのねらいについて伺いたい。

(2) これまでの市民啓発事業の取組状況について伺いたい。

(3) 今後の市民啓発事業の展開について伺いたい。

(意見) 世界の注目が集まるラグビーワールドカップ2019TM、東京2020オリンピック・パラリンピックの両大会において、横浜カーボンオフセットプロジェクトの取組結果が、今後の環境に配慮したライフスタイルの推進に向けた政策立案のエビデンスとして活用されることを期待する。

2 河 治 民 夫 委 員 (共 産 党)

1 再生可能エネルギーの導入促進と地産地消の推進について

- (1) Zero Carbon Yokohama の実現に向けた今後の取組の進め方について伺いたい。
- (2) 東北地方の12市町村と締結した再生可能エネルギーに関する連携協定の内容について伺いたい。
- (3) 再生可能エネルギーの導入拡大の具体的な取組内容について伺いたい。
- (4) 再生可能エネルギーの地産地消の具体的な取組について伺いたい。
- (5) 太陽光発電普及キャンペーンの取組内容について伺いたい。
- (6) 太陽光発電設置モデル事業には様々なタイプがあると思うが、具体的な内容について伺いたい。
- (7) このキャンペーンの取組のメリット及び横浜市の関わり方・役割について伺いたい。
- (8) このキャンペーンの市民への普及に向けた取組について伺いたい。
- (9) このキャンペーンの目標について伺いたい。
- (10) Zero Carbon Yokohama を目指すにあたり、市民への周知・啓発のためにも自治会町内会などへの説明回数など目標をもつべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (11) 太陽光発電による再生可能エネルギーの有効活用のため、蓄電池の設置も合わせて実施するべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 川 口 広 委員（自民党）

1 再生可能エネルギー加速度的導入促進モデル事業について

（1）再生可能エネルギー加速度的導入促進モデル事業のねらいについて伺いたい。

（2）今後の事業の進め方について伺いたい。

（意見）この事業で得られた成果を確実に生かし、横浜市全体に、また日本・世界のモデルとして発信できるようになることを期待している。

4 上野盛郎 委員（自民党）

1 ヨコハマSDGsデザインセンターについて

- (1) ヨコハマSDGsデザインセンターの31年度取組概要について伺いたい。
 - (2) みなとみらい2050プロジェクトの主な取組実績及び31年度を取組概要について伺いたい。
 - (3) ヨコハマSDGsデザインセンターがイノベーションを生み出し、都心臨海部の活性化を図っていくため、今後、市内企業との連携を広げていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) ヨコハマSDGsデザインセンターが中心となって、様々な新しい取組を進め、市民・企業の皆様にSDGs未来都市を横浜に浸透させていくことを期待している。

5 輿石且子 委員（無所属）

1 地域におけるSDGs未来都市の取組推進について

- (1) 環境未来都市として進めてきた取組の狙いについて伺いたい。
 - (2) SDGs未来都市として進める31年度の取組とこれまでの取組との違いについて伺いたい。
 - (3) 各区で進める取組の効果を高めるために、取組の共有化を図る場の設定や、取組内容の発信を進めるべきと思うが、見解について伺いたい。
- (要望) 取組の共有化や、取組内容の発信を進める地域の会議に担当職員も出席して現場の意見を把握してもらいたい。